

For Earth, For Life  
Kubota

# KUBOTA REPORT 2014

事業・CSR報告書


# クボタのミッション



1890年、19歳で鋳物業を開業したクボタグループの創業者・久保田権四郎。  
「やればできる」「失敗を恐れるな」の信念で、日本で初めて水道管の国産化や農業の機械化を実現し、社会の発展に貢献してきました。

「国の発展に役立つ商品は、全知全霊を込めて作り出さなければ生まれない」  
「技術的に優れているだけでなく、社会の皆様に役立つものでなければならない」

クボタグループは、この創業者の信念を継承し、グローバルに事業を推進、  
真に社会から親しまれ求められる企業グループで在り続けます。



## 農業の効率化により、豊かで安定的な食料の生産に貢献する

世界は今、人口増加を背景に食料の安定的な生産が求められています。クボタは、日本で培った稲作の機械化技術を活かし、アジア諸国で農村の人手不足解消と農業生産の効率化に貢献してきました。これからクボタは、畑作用大型農機市場に本格的に進出し、中長期的に成長を実現するとともに、世界の食料の安定的な生産に一層貢献してまいります。



水インフラの整備により、安心な水の供給と再生に貢献する

クボタの水ビジネスの歴史は、創業者・久保田権四郎が120年前に日本で初めて水道用鑄鉄管の国産化に成功したことに始まります。クボタは「取水から排水まで」の水関連製品の総合メーカーとして、国内のインフラ整備に貢献してきました。今後、成長著しいアジアを中心に水・環境分野の課題解決に貢献してまいります。



## 社会基盤の整備により、快適な生活環境の創造と地球環境の保全に貢献する

新興国では急速に経済が発展する一方で、深刻な環境問題も顕在化してきています。クボタは、国内の公害が深刻化した1960年代半ばから培ってきた環境関連分野の技術力で地球環境の保全に取り組み続けます。さらに、建設機械や空調機器、自動販売機など、快適な都市環境、生活環境の基盤づくりに貢献してまいります。

## Contents

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| クボタのミッション.....                      | 1  |
| トップメッセージ.....                       | 7  |
| <b>マネジメント</b>                       |    |
| コーポレートガバナンス.....                    | 11 |
| 内部統制システム.....                       | 12 |
| <b>経済性報告</b>                        |    |
| 財務ハイライト.....                        | 13 |
| 機械部門トピックス.....                      | 15 |
| 水・環境部門トピックス.....                    | 17 |
| <b>社会性報告</b>                        |    |
| お客様満足への取り組み.....                    | 19 |
| 働きがいと活気ある職場づくりの実現へ向けて.....          | 21 |
| 国際社会・地域社会への貢献.....                  | 23 |
| <b>環境報告</b>                         |    |
| クボタグループの環境経営.....                   | 25 |
| 地球環境保全への貢献をめざす<br>クボタグループの事業活動..... | 27 |
| <b>会社情報</b>                         |    |
| 会社概要・役員.....                        | 29 |
| 製品の変遷.....                          | 30 |
| クボタの事業展開.....                       | 31 |
| グローバルネットワーク.....                    | 33 |

## 編集方針

本レポートでは、事業活動を通じてグローバルな課題にチャレンジするクボタグループの代表的な取り組みを中心に、ステークホルダーの皆様にはわかりやすくご報告する冊子として構成しています。

### ■ 冊子版とWeb版の関係について

冊子版では、より簡潔にわかりやすく、イメージ的にクボタを理解していただけるように、ビジュアルを中心に活動をご紹介します。

Web版ではこれまで報告してきた経営・CSR情報や詳細データ、更新情報などについて、充実した情報開示となるよう構成しており、冊子版で紹介した内容についても、より詳しく掲載しております。

冊子版PDF :

<http://www.kubota.co.jp/csr/reportpdf/2014/14alldata.pdf>

Web版 :

<http://www.kubota.co.jp/csr/report/r2014.html>

## クボタグローバルアイデンティティ

クボタは、創業以来受け継がれてきた精神や共通の価値観をもとにグループ一丸となって事業活動を推進するために、世界共通の企業理念として「クボタグローバルアイデンティティ」を2012年10月に制定しました。「食料・水・環境」を一体のものとして捉え、そのグローバルな課題解決に貢献していくことをクボタのミッションとして掲げています。



### スピリッツ —私たちの精神・姿勢—

- 一. 総合力を生かすすぐれた製品と技術を通じて社会の発展につくそう
- 一. 会社の繁栄と従業員の幸福を希って今日を築き明日を拓こう
- 一. 創意と勇気をもって未知の世界に挑戦しよう

### ブランドステートメント —私たちの約束—

**For Earth, For Life**  
Kubota

### ミッション —私たちの使命—

人類の生存に欠かすことのできない食料・水・環境。クボタグループは、優れた製品・技術・サービスを通じ、豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を支え続けます。

## CSR経営の基本方針

クボタグループでは、クボタグループの全従業員が、企業理念「クボタグローバルアイデンティティ」を共有し、一人ひとりの役割と責任を果たした企業活動を行うことにより、社会（ステークホルダー）に貢献してまいります。これにより、クボタグループと社会の継続的な相乗発展をめざします。

※CSR=Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）

### クボタグループと社会の継続的な相乗発展

- 持続可能（サステナブル）な成長の継続
- 企業価値、コーポレートブランドの向上
- 社会からの信頼・評価の向上

#### 企業理念

「クボタグローバルアイデンティティ」の展開

#### 行動規範

「クボタグループ行動憲章・行動基準」の遵守

1. お客様の満足
2. 法令遵守と倫理に基づいた企業活動
3. 人権の尊重
4. 安全で活気に満ちた職場の形成
5. 地球環境・地域環境の保全
6. 国際社会・地域社会との共生
7. 経営の透明性の向上と説明責任の履行

#### 事業を通じたCSR

- 「食料・水・環境」分野での事業推進  
社会からの期待やニーズに応える製品・サービスの提供による事業成長
- ステークホルダーに対する誠実かつ適切な取り組み

#### 事業の土台としてのCSR

- ガバナンス体制の確立
- コンプライアンスの徹底（法令遵守や倫理・道徳に基づく行動）
- 内部統制システムの定着と強化

#### 社会に対する価値提供

|              |                     |
|--------------|---------------------|
| お客様          | 優れた製品・技術・サービスの提供    |
| 取引先          | 公平・公正な取引（CSR 調達）の推進 |
| 株主・投資家       | 利益の安定的確保と適切な還元      |
| 地域社会         | 地域社会への貢献、環境保全・環境美化  |
| 地球環境<br>将来世代 | 環境負荷・環境リスクの低減       |
| 行政           | 税金の納付、法規制等の遵守       |
| 従業員          | 働きがいと働きやすさの提供       |

#### ■ 報告対象組織

原則として、クボタグループすべてを対象としています。

#### 経済性報告

米国会計基準に基づく連結データを掲載しています。  
2013年度：連結子会社162社、持分法適用関連会社18社

#### 社会性報告

クボタ単体を中心にグループ会社の活動成果を記載しています。

#### 環境報告

クボタ単体と連結子会社162社（国内61社、海外101社）の活動成果を記載しています。

#### ■ Web サイト情報について

クボタグループの活動報告は、当冊子とWebサイトでを行っています。当冊子に掲載していない詳細情報は、当社Webサイトをご覧ください。

<http://www.kubota.co.jp/csr/report/r2014.html>

#### ■ 報告対象期間

2013年度（2013年4月から2014年3月）の活動を中心に記載しています。環境報告については、国内は2013年4月から2014年3月、海外は2013年1月から2013年12月を対象としています。一部につきましては、直近の事柄についても記載しています。

#### ■ 参考にしたガイドライン

- 環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」
- GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第3.1版」

#### ■ アンケートについて

皆様のご意見・ご感想をお聞かせ下さい。ご協力宜しくお願いいたします。

<http://www.kubota.co.jp/csr/report/questionnaire.html>

企 画 CSR統括部  
編集・発行 コーポレート・コミュニケーション部

#### 将来予測に関する免責事項

本資料で記載されている業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づきクボタが判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのためさまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

食料・水・環境分野で社会に貢献し、  
更なる成長をめざします。

代表取締役社長

末股昌俊



この度代表取締役社長に就任しました木股昌俊です。2014年6月に益本康男・前代表取締役会長兼社長が急逝し、社長代行を務めておりましたが、株主総会を経て同7月に代表取締役社長に就任しました。

前社長は生前、「変化すること、すなわち現状に安住せず、新しいことに果敢にチャレンジし、グローバル化を加速することがクボタの生命線だ」と繰り返し言い続けておりました。会社の未来や事業の夢を語り、その実現に向けてひたむきに走り続けた前社長の遺志を胸に、「食料・水・環境」分野のグローバル市場で、存在感のある企業グループをめざしてまいります。

## 2014年度経営方針の継承

私は期初に策定した経営方針および重点施策を継承し、引き続き展開していきます。

### <重点施策>

#### (1) 戦略市場での事業展開加速

クボタは、中長期にわたる成長を実現するため、「大型畑作市場への本格展開」と「アジアでの水・環境事業展開」を戦略的取り組みとして加速させてまいります。

クボタはこれまで、国内市場で培ってきた稲作用農機をベースに海外事業を拡大してきましたが、今後は、耕作面積比で稲作の4倍ともいわれる畑作の農機市場に本格進出します。既存の欧米メーカーに伍して畑作用大型農機市場で確固たる地位を築くべく、早期に製品ラインアップの拡大、販売・サービス網の整備・拡充などを行い、事業を加速します。

水・環境分野では、中国で既に設立しているエンジニアリング、ポンプなどの事業会社を起点に展開を進めます。東南アジアでもマレーシアやインドネシアでパーム油廃液処理装置を受注するなど新たな事業に取り組んでいます。また、2012年に買収した子会社の現地拠点の活用も進めます。

#### (2) グローバル事業運営体制の強化

私は海外市場での一層の事業拡大に向け、主要な事業機能のグローバル化あるいは現地化を強力に推進していきます。グローバル市場での成長をさらに追求するため、研究・開発体制の拡充・整備、および現地ニーズに合致した製品の開発を進めます。今後も「マーケットイン」を一層徹底するため、国内開発拠点と海外開発拠点の役割を明確にした上で、研究・開発体制の強化を推進します。

また、日本というマザー市場での事業拡大も重視します。

#### (3) 水・環境事業の再構築

機械事業に比べて海外展開の遅れている水・環境事業については、グローバル市場での事業拡大を図る一方で、長期的な視点に立った事業の再構築を推進します。成長性と収益性の観点から事業・製品の再検証を行い、強化すべき事業には経営資源を積極的に投入します。一方、低迷が続く事業については、全社を挙げて業績の改善に努めます。

## 新しい経営体制について

私は、前社長が築いた『トップ自らによる直接“統治”』という形式を維持し、掲げた目標を確実に達成してまいります。社長を頂点とした取締役をはじめとする経営幹部による合議を通じて、経営幹部の意見を十分に汲み上げ、議論を重ねた上で、意思決定していきます。一方で、これまで強調してきた『経営のスピードアップ』や『トップダウンの徹底』などの精神はしっかりと継承し、決定したことは迅速かつ強力に推進します。私を含む経営幹部自身が、スピード感をもって“率先垂範”していきます。

## 「現場」を重視した経営をめざす

私はこれまで、国内外の生産、販売および調達部門を歴任してきました。それらの現場の苦労を理解し、現場で起こりうる問題・課題も熟知しているつもりです。『モノづくりに軸足を置いた現場重視』は前社長も経営の基本としてきました。私はその『現場重視』を全面的に踏襲した上で、研究開発・モノづくり・マーケティングなど、モノづくりの現場にとどまらない現場のあるべき姿を追求します。メーカーの真髄ともいえるこれら領域の足を強固なものにして、事業の拡大を図っていきます。その上で、グローバル市場における事業成長のスピードをさらに加速させてまいります。

## 事業推進にあたって

### (1) マーケティング

今後の事業拡大には、長期的視点に立った地球規模でのマーケティングと、それに基づく技術・製品の開発が不可欠です。マーケティングの基本は、いうまでもなく『顧客第一主義』です。私は、お客様の“のぞみ”を超

える商品・サービスを、お客様の“予測”を超えるスピードで提供することが、“感動”を呼ぶ、と考えています。これを実現できるようなマーケティング、開発、モノづくりを追求してまいります。

### (2) 技術開発

戦略市場での事業展開に必要な技術を中心に、研究開発拠点および体制を再構築していきます。従来事業部中心で行ってきた研究開発活動を、前述の通り全社的かつグローバルな視点から捉え直し、グループ全体の技術戦略を策定し、これに着手します。

一方、国内、海外とも、各地域の実情に即した、地域密着型の技術開発・製品開発も重要性を増しています。特に海外主要拠点を中心に、研究開発活動の現地化を促進します。

### (3) モノづくり力の強化

モノづくりでは、グローバル生産の進展とクボタ製品の特質を踏まえ、更にレベルアップした“クボタ生産方式”の確立を図ります。クボタ生産方式を具現化できる生産拠点、およびそれを支える“改善魂”に満ちた人材を育

て、グローバルに展開していくことが、私の目標です。そして、各生産拠点で「感動をあたえる商品、感動を生み出す工場づくり」をめざします。

また、『Made by KUBOTA』を支える調達についてもグローバル化を促進します。昨年、調達本部を全社組織として設置し、各事業部・各拠点間の連携強化を図りました。併せて、グローバル調達を支える人材の確保を進め、事業の壁を越えた、地球規模のグループ調達網構築をめざします。

## 更なる成長をめざす

前社長は、毎期の経営方針において、「新事業・新市場の開拓に果敢に挑戦すること」― それを通じて、「クボタの事業を飛躍的に拡大させること」― それを支えるために、「技術力、モノづくり力を大幅に向上させること」― そして、「経営全体のグローバル化を果たすこと」を強く指示してきました。私は、これらの方針を確実に継承し、将来に向けてさらに発展させていく所存です。そしてクボタを、『食料・水・環境分野での課題解決を通じて社会に貢献する、チャレンジ精神にあふ

れた会社』にしたい。また、従業員にとって『夢を持てる会社、事業を通じて自らを成長させることのできる会社』にしたい、と考えています。そうした誇りある会社をつくりあげるため、クボタグループ全員が一致団結して取り組んでまいります。引き続き皆様のご支持・ご支援をお願いいたします。

#### 社長・木股昌俊 略歴

---

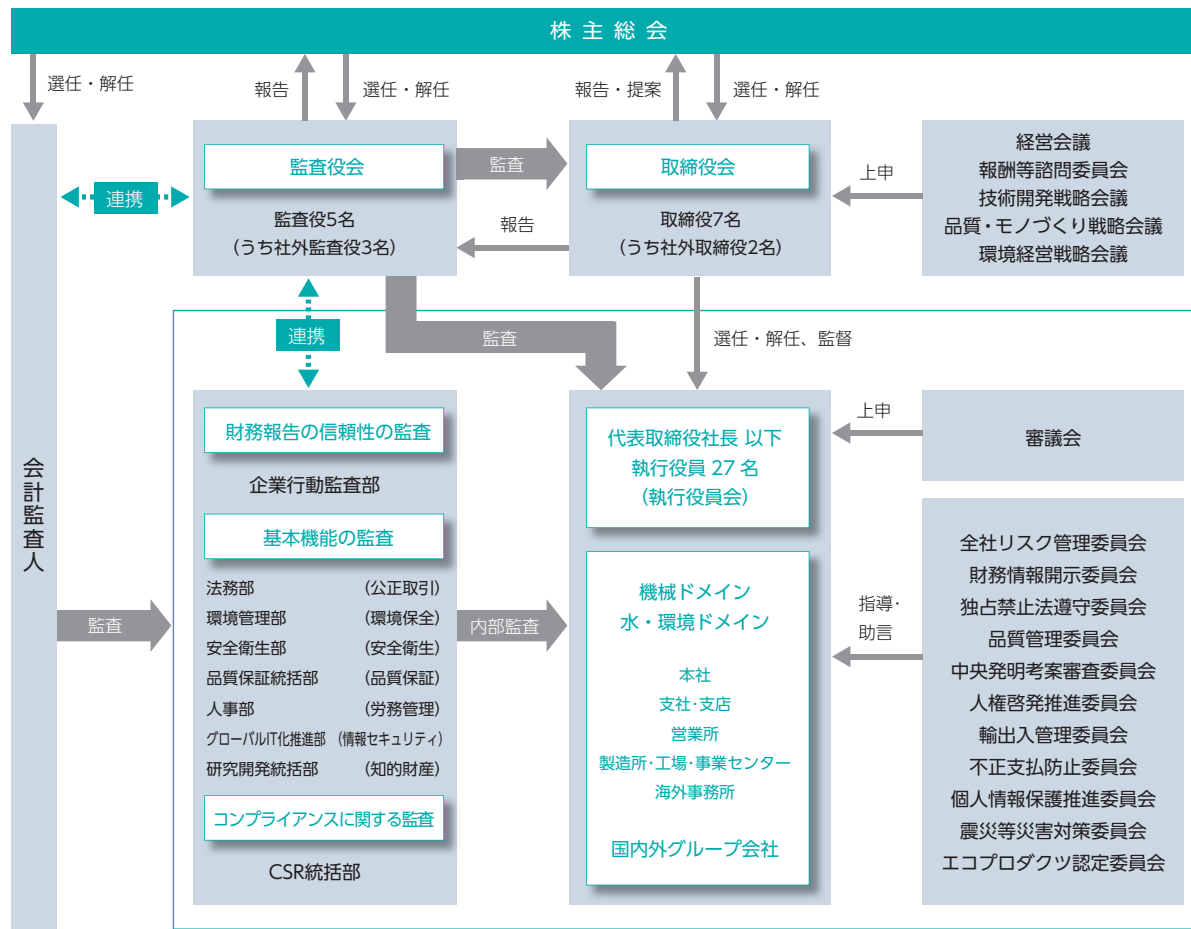
- 1977年 4月 久保田鉄工株式会社(現株式会社クボタ)に入社
  - 2001年10月 筑波工場長
  - 2005年 6月 取締役就任
  - 2007年 4月 機械営業本部副本部長
  - 2008年 4月 常務取締役就任
  - 2009年 4月 取締役常務執行役員就任  
機械事業本部副本部長、機械営業本部長
  - 2010年 7月 専務執行役員就任
  - 8月 サイアムクボタコーポレーション株式会社社長就任
  - 2012年 4月 水・環境ドメイン担当、東京本社事務所長
  - 6月 取締役専務執行役員就任
  - 8月 コーポレートスタッフ管掌、水処理事業部長
  - 2013年 4月 調達本部長
  - 2014年 4月 代表取締役副社長執行役員就任
  - 7月 代表取締役社長就任、現在に至る
- 



# コーポレートガバナンス

経営環境への迅速な対応、経営の透明性の向上などを達成するため、下記のような企業統治の体制を採用しています。

■ コーポレートガバナンス体制図 (2014年7月1日現在)



## 取締役会

取締役会は戦略的な意思決定と取締役および執行役員による職務執行の監督を行っています。取締役会は7名の取締役(うち、社外取締役2名)で構成されています。定例取締役会を毎月1回開催するほか、必要に応じ随時開催し、経営計画に関する事項、資金計画、投資、事業再編などの重要経営課題について審議、決定しています。

## 執行役員会

クボタは執行役員制度を導入しています。執行役員会は代表取締役社長(以下、社長)および執行役員で構成されています。定例執行役員会を毎月1回開催するほか、必要に応じ随時開催し、社長は取締役会の方針や決議事項を執行役員に指示・伝達し、執行役員は業務執行状況を社長に報告します。

## 監査役会

クボタは監査役設置会社です。監査役会は5名の監査役(うち、社外監査役3名)で構成されています。監査役会を年4回以上開催とし、定期のほか必要に応じ随時開催し、監査の方針や監査報告などについて協議・決定しています。

## 経営会議 / 審議会

経営会議は、投融资や中期経営計画など経営上重要な事項について、取締役会の前置機関としての役割を担っており、常勤監査役のうち2名がオブザーバーとして参加しています。審議会は、経営会議審議項目を除く社長決裁事項および特命事項についての社長の諮問機関としての役割を担っており、構成メンバーに社長を含まず、常勤監査役のうち1名がオブザーバーとして参加しています。

# 内部統制システム

クボタグループの内部統制システムは、「リスク管理は事業活動の根幹である」という認識のもと、事業活動の中で「不備があれば直ちに修正する」という地道な改善を継続して行うことで、法令遵守の徹底はもちろん、業務の標準化等、業務レベルの向上を図っています。

## ■ リスク管理の監査件数

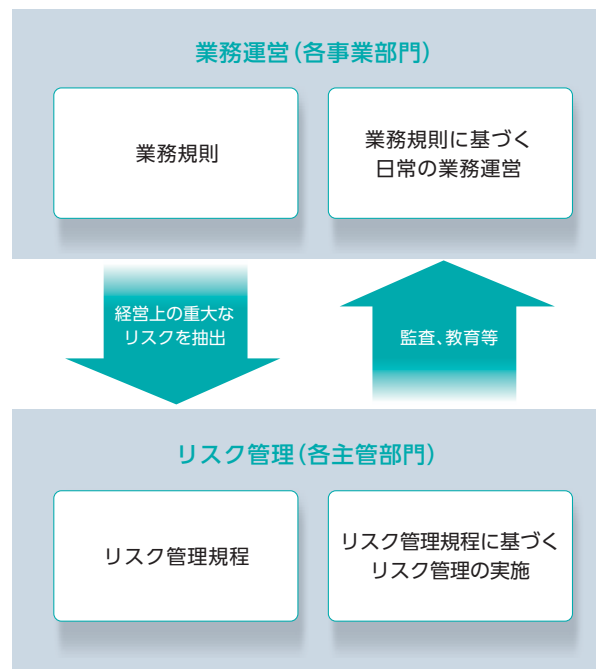
| リスク管理事項             |           | 2013年度<br>監査件数(総数)※1 |
|---------------------|-----------|----------------------|
| 財務報告の信頼性に<br>係る内部統制 | 財務報告      | 4,429                |
| 会社の基本機能に<br>係る内部統制  | 公正取引      | 120                  |
|                     | 環境保全      | 12,106               |
|                     | 安全衛生      | 2,904                |
|                     | 品質保証      | 768                  |
|                     | 労務管理      | 5,996                |
|                     | 情報セキュリティ  | 1,700                |
|                     | 知的財産      | 539                  |
| コンプライアンスに<br>係る内部統制 | 設備関連法規遵守  | 498                  |
|                     | 震災等災害対策管理 | 72                   |
|                     | 建設業法遵守    | 798                  |
|                     | 人権啓発※2    | —                    |
|                     | 安全運転管理    | 120                  |
|                     | 不正支払防止    | 430                  |
|                     | 機密情報管理    | 515                  |
|                     | 個人情報保護    | 257                  |
|                     | 輸出入管理     | 200                  |
|                     | 物流関連法規遵守  | 361                  |

※1 監査件数(総数)・・・対象部門ごとの監査項目数を積み上げた件数

※2 人権啓発・・・2013年度は、研修・情報発信・調査結果フォローなどの活動を  
中心に展開

## 内部統制システムの運営状況

グローバルな事業展開が加速する中、内部統制の仕組みに基づくリスク管理活動が、事業存続のための経営基盤であることを強く認識し、海外を含めたレベルアップを図っています。



## 公正取引

海外も含め独占禁止法関連の研修会を継続的に開催し、過去の違反行為に対する意識風化の防止を徹底しています。また、疑念のある事案については、弁護士への相談を実施し、違反行為の未然防止を徹底しています。下請法については、基礎研修会や実務相談会を定期的に行い、リスク管理体制を拡充しています。

2013年11月、カンントリーエレベーター等農業施設について入札談合を行っていた疑いがあるとしてクボタアグリサービス(株)が公正取引委員会の立入検査を受けました。調査に対しては全面的に協力するとともに、引き続きグループ会社を含めた独占禁止法遵守のための取り組みを徹底して参ります。

## 売上高が2期連続で過去最高額を更新しました。

当期(2013年4月1日～2014年3月31日)の売上高は、前期比2,980億円(24.6%)増加して1兆5,086億円となりました。

国内売上高は、農業機械、建設機械、エンジンなどの機械部門が大幅に増加し、官公需を中心とする水・環境部門も堅調に推移したため増収となり、全体では前期比953億円(17.6%)増の6,383億円となりました。

海外売上高は、機械部門が北米・アジア・欧州の各地域で伸張したほか、水・環境部門やその他部門もアジア中心に拡大したため、全体では前期比2,027億円(30.4%)増加の8,702億円となりました。当期の海外売上高比率は、前期比2.6ポイント上昇して57.7%となりました。

営業利益は、国内外での増収や円安効果などにより、前期比811億円(66.8%)増加の2,024億円となりました。

税金等調整前純利益は、営業利益にその他の収益89億円を加えた2,113億円となり、前期比841億円(66.1%)の増加となりました。法人所得税は719億円の負担、持分法による投資損益は30億円の利益、非支配持分帰属損益は108億円の控除となり、これらを合計した当社株主に帰属する純利益は前期を536億円(68.7%)上回る1,317億円となりました。

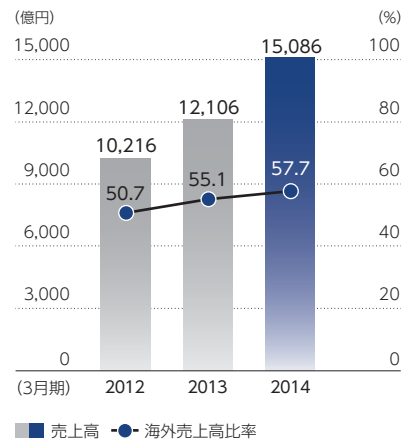
### 財務ハイライト

|                                | 単位:億円   |         |         |
|--------------------------------|---------|---------|---------|
| 各年3月期                          | 2012    | 2013    | 2014    |
| <b>会計年度:</b>                   |         |         |         |
| 売上高                            | ¥10,216 | ¥12,106 | ¥15,086 |
| 営業利益                           | 1,032   | 1,214   | 2,024   |
| 税金等調整前純利益                      | 998     | 1,272   | 2,113   |
| 当社株主に帰属する純利益                   | 613     | 781     | 1,317   |
| 設備投資額                          | 341     | 505     | 512     |
| 減価償却費                          | 240     | 299     | 353     |
| 研究開発費                          | 279     | 320     | 356     |
| 営業キャッシュ・フロー                    | 680     | 493     | 833     |
| フリー・キャッシュ・フロー <sup>*1</sup>    | 383     | 1       | 302     |
| <b>会計年度末:</b>                  |         |         |         |
| 総資産                            | ¥15,507 | ¥18,466 | ¥21,047 |
| 株主資本                           | 6,744   | 7,933   | 9,348   |
| 有利子負債                          | 3,880   | 5,100   | 5,869   |
| <b>1株当たり情報(円):</b>             |         |         |         |
| 純利益<EPS> <sup>*2</sup>         | ¥ 48.54 | ¥ 62.15 | ¥104.94 |
| 株主資本<BPS> <sup>*3</sup>        | 536.97  | 631.64  | 748.00  |
| <b>主要財務データ(%):</b>             |         |         |         |
| 営業利益率                          | 10.1    | 10.0    | 13.4    |
| 総資産利益率<ROA> <sup>*4</sup>      | 6.8     | 7.5     | 10.7    |
| 株主資本利益率<ROE> <sup>*5</sup>     | 9.3     | 10.6    | 15.2    |
| 株主資本比率                         | 43.5    | 42.9    | 44.4    |
| 負債資本倍率<DEレシオ>(倍) <sup>*6</sup> | 0.58    | 0.64    | 0.63    |

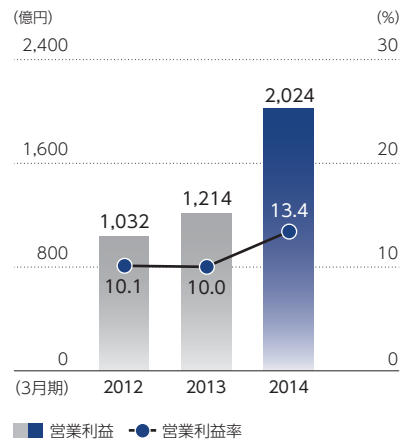
※1 フリー・キャッシュ・フロー＝営業キャッシュ・フロー－固定資産購入額  
 ※2 1株当たり純利益(EPS)＝当社株主に帰属する純利益/期中加重平均株式数  
 ※3 1株当たり株主資本(BPS)＝株主資本/期末発行済株式数  
 ※4 総資産利益率(ROA)＝税金等調整前純利益/各期首・期末の平均総資産  
 ※5 株主資本利益率(ROE)＝当社株主に帰属する純利益/各期首・期末の平均株主資本  
 ※6 負債資本倍率(DEレシオ)＝有利子負債/株主資本

一部の連結子会社等における決算期変更に伴い、過去の連結財務諸表を適時的に調整しています。

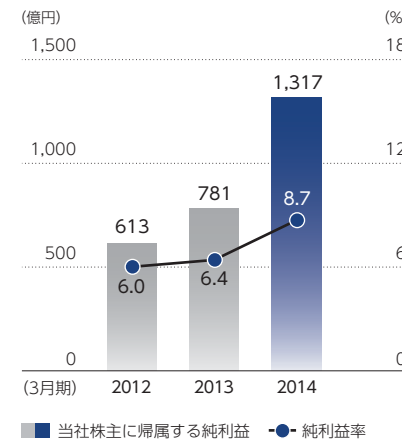
### 売上高・海外売上高比率



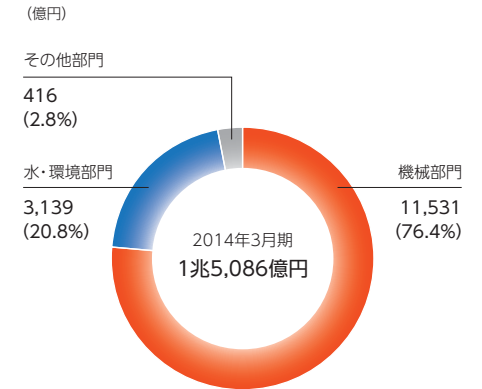
### 営業利益・営業利益率



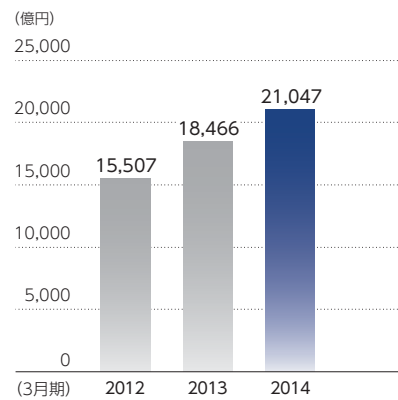
### 当社株主に帰属する純利益・純利益率



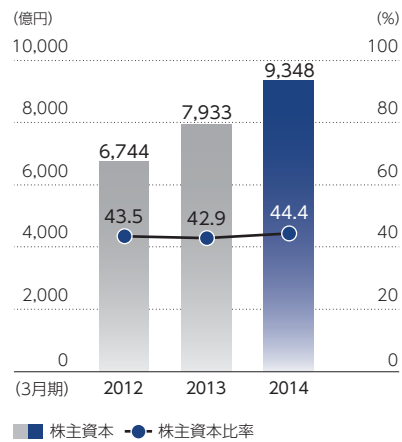
### 事業部門別売上高



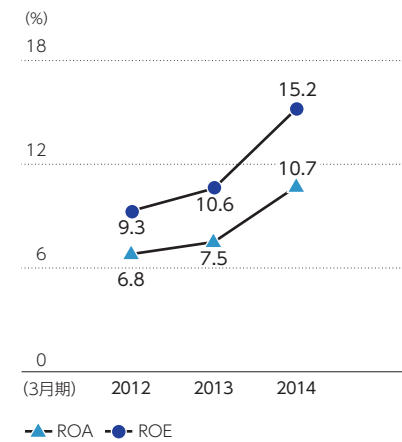
### 総資産



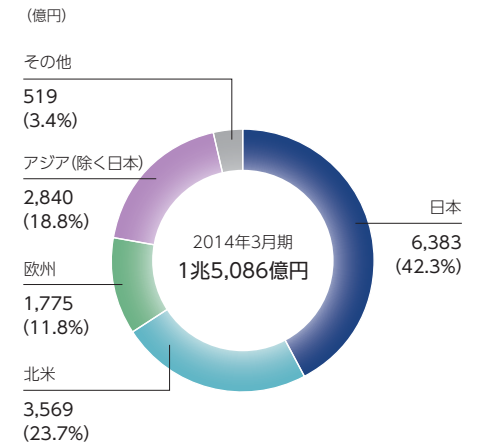
### 株主資本・株主資本比率



### ROA・ROE



### 地域別売上高





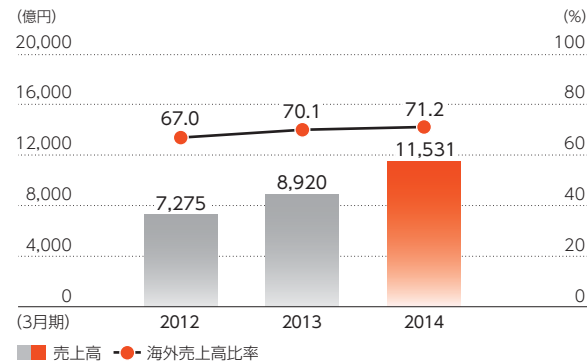
フランスに大型畑作用トラクタ(130~170馬力)の製造事業会社を新設し、2015年4月からの量産を予定しています。2017年に3,000台の生産をめざします。需要の中心地での現地生産により大型畑作農機事業の拡大を図ります。



# 機械部門

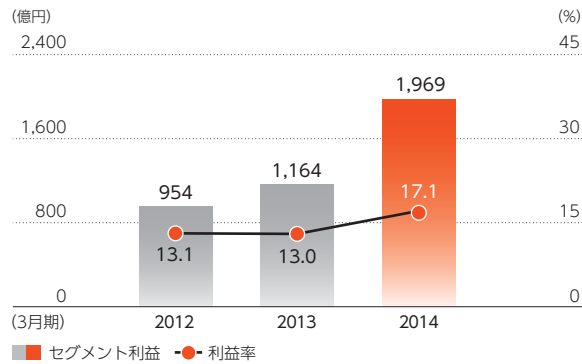
## 営業概況

### 売上高・海外売上高比率



売上高は、前期比29.3%増加して1兆1,531億円となり、売上高全体の76.4%を占めました。

### セグメント利益・利益率



セグメント利益は、前期比69.2%増加して1,969億円となりました。

## 今後の事業展開

# 大幅な成長が期待される畑作用大型農機市場に本格参入

クボタは、畑作用大型農機市場での事業展開を加速します。当社はこれまで、国内市場で培ってきた稲作用農機をベースに海外事業を拡大してきました。今後は、耕地面積比で稲作の4倍ともいわれる畑作の農機市場に本格進出することにより事業を飛躍的に拡大し、中長期にわたる成長を実現していきます。当社は、2012年に畑作用インプラメントメーカーを買収したのに続き、2013年12月には欧州に畑作用農機の製造拠

点を設置することを決定し、総合農機メーカーへの第一歩を踏み出しました。既存の欧米メーカーに伍して畑作用大型農機市場で確固たる地位を築くべく、早期に製品ラインアップの拡大、販売・サービス網の整備・拡充などを行い、事業展開を加速します。その実行にあたっては、当社グループ一丸となって取り組むとともに、他社との連携も含めたさまざまな選択肢を視野に入れていきます。

## トピックス



成長が期待される畑作用大型トラクタの製造工場をフランスに新設を決定、2015年4月より量産開始



旺盛な農業機械化需要の拡大に対応し、インドネシアでディーゼルエンジン工場の生産能力増強を決定

(完成イメージ図)



タイ合弁会社がカンボジア、ラオスにおいて新会社を設立し、現地での農機販売を強化



ICTを活用した農業支援システム「クボタスマートアグリシステム(KSAS)」を開発、対応する農機を初投入



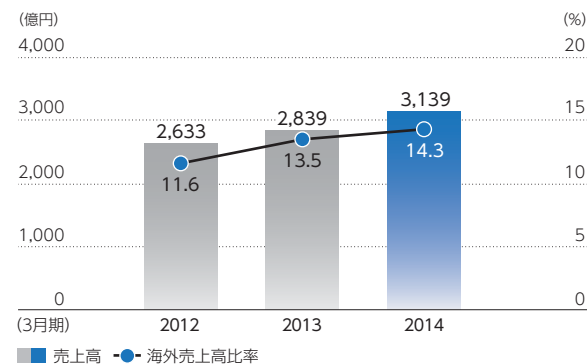
宮城県名取市の排水機場（ポンプ場）

上下水道の復旧、仮設住宅での配管整備・排水処理、農業用水の復旧などを通じてクボタグループが有するさまざまな水・環境製品が、被災地域の復旧・復興、街づくりに活躍しています。

# 水・環境部門

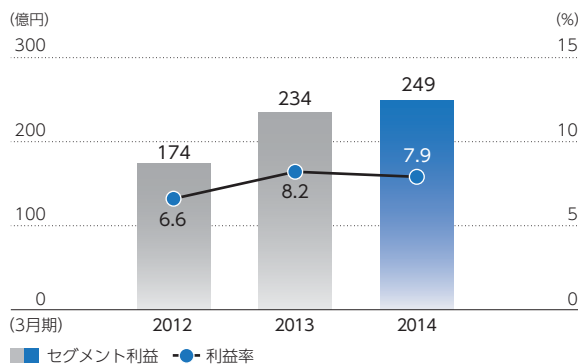
## 営業概況

### 売上高・海外売上高比率



売上高は、前期比10.6%増加して3,139億円となり、売上高全体の20.8%を占めました。

### セグメント利益・利益率



セグメント利益は、前期比6.5%増加して249億円となりました。

## 今後の事業展開

# 成長著しいアジア諸国で水・環境事業の展開を加速

水・環境分野ではアジアでの事業展開を加速します。中国では、すでに設立しているエンジニアリング、ポンプなどの事業会社を起点に展開を促進します。東南アジアでは、マレーシア・インドネシアでパーム油廃液処理装置を受注するなど、新たな事業に取り組んでいます。一層、地域全体とし

て事業展開を加速するため、2012年に買収した子会社の現地拠点の活用も進めていきます。経営資源を重点投入するのはもちろんのこと、現地のリソースも活用しながら、既存の製品・技術・営業手法にとらわれない事業展開を進めます。

## トピックス



インフラ整備が急がれる、ミャンマーの経済特区内の給水配管および上下水処理設備建設工事を受注



インドネシアでパーム油廃液処理設備を初受注、バイオガス回収で環境改善・再生可能エネルギー活用へ貢献

(画像はマレーシアのプラント)



米国カントン市において北米最大規模の膜分離活性汚泥法 (MBR) 水再生処理施設を受注

## その他部門



クボタの子会社が、シンガポールにおいて日本産米の輸入精米販売事業を開始

初売りは熊本産米を販売 (画像提供: 熊本県)

# お客様満足への取り組み

「クボタグループ 技能コンクール」2013年大会では、旋盤や溶接、機械保全など14種目に201名の選手が出場し、これまで磨いてきた技能を競い合いました。世界のクボタ品質をより高めていくため、各拠点がモノづくり力を向上させ、グループ全体に広げていくことにつながる取り組みとなっています。



## 製品安全と優れた品質の確保

### 品質向上活動

世界のさまざまな使用環境下でも製品の機能・性能・信頼性などの品質を確保し、お客様に満足していただくために、設計・開発の段階から起こりうる問題を予想して対処する等の科学的手法を活用しています。



### 新入社員教育

製造現場でモノづくりに従事する新入社員を対象に「ヒトづくりなくしてモノづくりなし」の考えのもと、約1年間の教育を全寮制で行います。技能・技術や安全、品質等について基礎から学びます。



### クボタグループ技能コンクール

グループ全体の技能向上を目的に、技能コンクールを実施しています。競技を通じて互いに刺激を受け、各拠点が技能向上への取り組みに力を入れる機会になっています。



### 5ゲン道場

世界のどこでも「Made by KUBOTA」を確保できるよう、人材教育とモノづくりの改善活動のベースとなる考え方「5ゲン主義」の浸透に力を入れています。



### 調達先を含めた品質・生産性の向上

世界のお客様に信頼・評価されるクボタブランドの構築のため、世界規模での調達網の構築による最適調達を推進し、調達先も含めた品質・生産性の向上に努めています。



## 魅力あふれる製品・技術・サービスの提供

### 新たな価値を創造する研究開発

お客様満足につながる画期的な新製品、新サービスを提供していくため、ITを活用した運営・維持管理などのサービスを展開しています。



### 地域ごとの製品開発

顧客ニーズを的確・迅速につかんだ製品開発につなげるため、現地での技術開発の体制整備を進めています。



### 技術情報の共有化

人類の生存に欠かすことのできない「食料・水・環境」分野での総合力を発揮するため、「技術研究発表会」などを通じ、事業部の垣根を越えた交流や情報共有を推進しています。



機械ディーラーミーティングにおける新製品発表

#### 石綿問題への対応

クボタは旧神崎工場周辺住民の方々や従業員に石綿疾病の方が出ている事実を真摯に受け止め、過去に石綿を扱ってきた企業として社会的責任を果たすという観点から、今後とも誠意をもってこの問題に取り組んでいきます。これまでの対応については <http://www.kubota.co.jp/kanren/index.html> をご覧ください。

#### リコール情報の開示

【M型トラクタのリコールについて】 計6車種 218台  
リコール届出番号 3332/リコール開始日 2014年3月27日  
【KL-Zトラクターのリコールについて】 計9車種 7,447台  
リコール届出番号 3392/リコール開始日 2014年7月24日  
詳細は <http://www.kubota.co.jp/important/index.html> をご覧ください。

# 働きがいと活気ある職場づくりの実現へ向けて



海外グループ会社数社の人事部門長を集めた会議を初めて開催し、グローバル化に対応した人事施策等について活発に議論を交わしました。海外との連携をさらに深め、事業のグローバル化に対応した人事施策を推進していきます。

## 安全で心身ともに健やかな職場づくり

### 安全衛生(設備本質安全化、安全人間づくり)

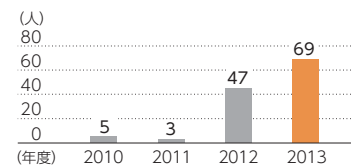
災害のない安全で安心な職場づくりを推進するため、重大災害につながるリスクについて「設備本質安全化ガイドライン」に基づき、継続的に設備対策を進めています。従業員の安全感性を高めるため、基本的なルール・マナーに関する「安全人間基本ガイドライン」を制定しました。また、危険への気づきや回避能力を高めるKYT(危険予知訓練)などの教育も国内外クボタグループに展開していきます。



### メンタルヘルス、ワークライフバランス

従業員自身のセルフケア、管理監督者によるラインケアの両面から、メンタルヘルス不調の早期発見や未然防止に取り組んでいます。また、仕事と生活の調和がとれた働き方ができるよう、特に子育てを行う従業員の支援や、年次有給休暇の取得推進に力を入れています。

■ 男性の育児休暇取得状況



## 人権尊重とダイバーシティの推進

### 人権

人権の国際基準を尊重し、各国の法令遵守を徹底することはもちろん、国内外の人権意識の向上に努め、人を大切にする風土の醸成に努めています。

■ 2013年度 人権研修の実績(延人数)

| 社内研修   | 外部研修 | 合計     |
|--------|------|--------|
| 21,012 | 551  | 21,563 |

### 女性

社内外の女性社員のネットワークを活用した女性活躍の推進を行っています。さまざまな取り組みの結果、女性管理職の人数も年々増加しています。



### 障がい者

特例子会社「クボタワークス(株)」「クボタサンベジファーム(株)」を設立・運営し、障がい者の雇用創出と、働く環境づくりに取り組んでいます。



## グローバル化に対応した人事施策の推進

### 企業理念の徹底

全従業員が一丸となった事業推進を行えるよう、企業理念「クボタグローバルアイデンティティ」を新たに制定し、世界の各拠点で浸透のための研修を実施しています。



### グローバル人材マネジメントポリシーの制定

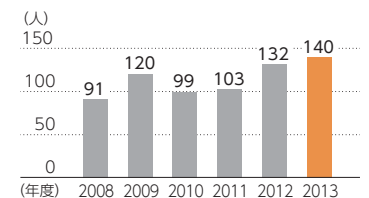
「クボタグローバルアイデンティティ」に基づき、グループ共通の人材マネジメントに関する基本方針として「クボタグローバル人材マネジメントポリシー」を制定しました。



### 海外での語学研修等

若手社員の語学力と異文化適応力向上を目指し、全新入社員を対象に、約1カ月の海外語学研修および現地の製造拠点への訪問を実施しています。

■ 語学研修派遣者数推移



クボタサンベジファーム(株)で運営する水耕栽培事業

# 国際社会・地域社会への貢献



## 釜石市箱崎ファームの移設ボランティア活動

2014年5月に新入社員104名が作業を実施しました。ボランティア活動に参加した新入社員は、被災者の方と直接触れ合い、被災地の現実を知り、復興のために何が出来るかを考えるなど、自らが学び成長する場にもなっています。



## 国際社会・地域社会への貢献

クボタグループは、各国・各地域の文化・習慣を尊重し、地域社会とのコミュニケーションを通じて信頼関係を築き、良き市民として社会との共生を図ります。

## クボタeプロジェクト

6つのeの視点

クボタグループでは、2008年より「食料・水・環境」分野における社会貢献活動への取り組みとして、「クボタeプロジェクト」に取り組んでいます。



小学生に自然と触れ合う機会を提供する「クボタ地球小屋」



全国各地で地域の環境美化に取り組む「クボタeデー」



小学生が米作りを体験する「クボタ元気農業体験教室」



国内外で社会問題解決に取り組む方々を応援する「毎日地球未来賞」に協賛



インドでの井戸建設を支援



各地域における耕作放棄地再生への取り組みを支援



## 被災地の再生・復興に向けた支援活動



仮設住宅向けコミュニティ農園の整備・農機奇贈



被災地の物産活用～食べて・飲んで被災地を応援～



被災農業高校への特別講座「鉄コーティング直播実習」



被災地の耕作放棄地を再生し、農業復興を応援

## 海外での取り組み



サイアムクボタメタルテクノロジーによる小学校への支援活動



クボタマニュファクチャリングオブアメリカCorp.による子供支援団体への寄付活動

## 企業スポーツを通じた社会貢献活動



クボタスピアーズラグビーフェスティバルin船橋



中学生を対象としたラグビー教室



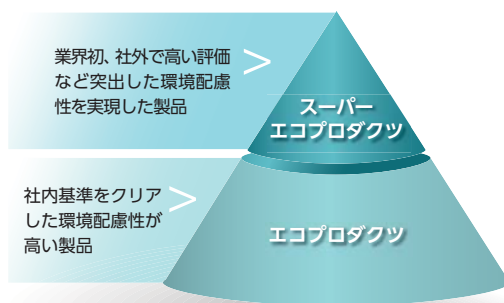
クボタグループの環境経営

# 「For Earth, For Life」の実現に向けた地球環境保全

クボタグループは、「For Earth, For Life」をブランドステートメントに掲げ、美しい地球環境を守りながら、人々の豊かな暮らしを支え続けます。事業を通じて食料・水・環境分野の課題を解決し、サステナブル企業として「持続可能な社会」の構築に貢献します。

クボタグループの環境経営の基本方向として、「地球温暖化の防止」「循環型社会の形成」「化学物質の管理」の3項目を定めるとともに、環境性能を向上した「エコプロダクツ」を拡充しています。

## エコプロダクツ 社内認定制度



### エコプロダクツ認定製品(一例)

#### 排ガス規制対応



トラクタ  
GLOBE  
M135G 他  
(国内、北米、欧州)

#### 排ガス規制対応



ディーゼルエンジン  
V6108-E4  
シリーズ  
(国内、北米、欧州)

## 環境保全統括者メッセージ



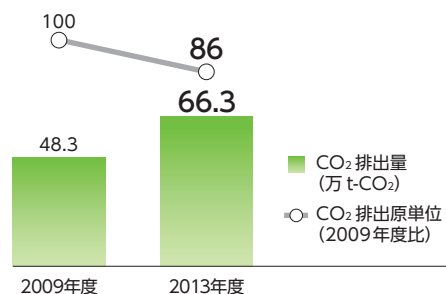
取締役専務執行役員  
品質・モノづくり本部長  
(環境保全統括者)  
小川 謙四郎

## 経営層主導で環境経営をさらに強化

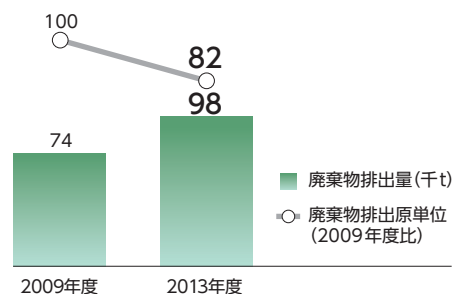
クボタグループは、食料・水・環境分野における課題解決を使命とし、「Made by KUBOTA」のモノづくりを通して、地球環境の保全に貢献しています。2013年度より、環境経営をさらに強化するために、推進体制を整備し、環境負荷・環境リスクの低減活動や環境配慮製品の拡充などを経営層主導で推進しています。2014年6月、環境大臣に新たな目標に対する取り組みを約束し、改めて「エコ・ファースト企業」に認定されました。これを機に、お客様や従業員など、ステークホルダーとの環境コミュニケーションを充実させ、ブランド価値向上に繋げていきたいと考えています。今後ますますグループ一丸となって、地球環境の保全に貢献してまいります。

## 環境負荷の低減

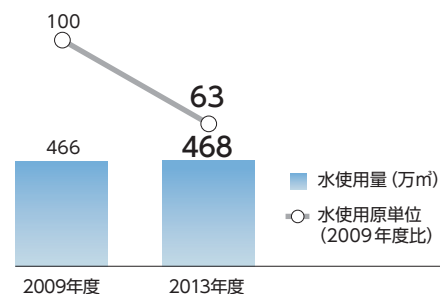
### CO<sub>2</sub>の削減



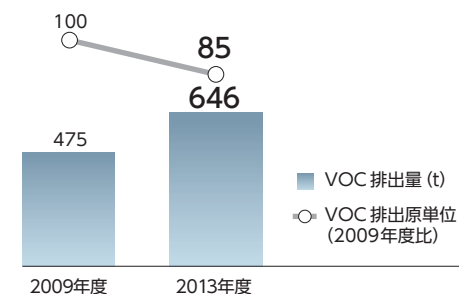
### 廃棄物の削減



### 水使用量の削減



### VOC排出量の削減



※原単位は連結売上高あたりの環境負荷量です。

# 地球と人の未来を支え続ける

地球環境保全への貢献をめざすフタバグループの事業活動

## Food (食料)



トラクタ



コンバイン



田植機



耕うん機



精米機



エンジン

安定的な食料の生産

農作物の収穫量UP

農作業の効率UP

農薬散布量の低減

施肥量の低減

水質の富栄養化抑制

排ガスクリーン化

地球と人の未来

食料  
安心・安全

地球環

気候変動抑制

資源

CO<sub>2</sub>削減

省資源・

製品の提供

企画

開発・設計

調達

生産



<工場・オフィスでの取り組み>

・省エネルギー

・廃棄物3R

INPUT

### エネルギー

|           |                  |       |         |
|-----------|------------------|-------|---------|
| 化石燃料      | 4,660 TJ         | 太陽光発電 | 66.7MWh |
| 購入電力      | 690,600MWh       |       |         |
| 輸送燃料*     | 695 TJ           |       |         |
| <b>合計</b> | <b>12,150 TJ</b> |       |         |

### 水資源

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 上水        | 110 万m <sup>3</sup>       |
| 工業用水      | 256 万m <sup>3</sup>       |
| 地下水       | 102 万m <sup>3</sup>       |
| <b>合計</b> | <b>468 万m<sup>3</sup></b> |

### 主要原材料

|      |        |
|------|--------|
| セメント | 5.9 千t |
| 新鉄   | 7.7 千t |
| 帯鋼   | 101 千t |

### リサイクル原料

|           |         |
|-----------|---------|
| 故鉄        | 59.4 千t |
| スチールスクラップ | 236 千t  |

### 使用済製品の回収

|           |        |
|-----------|--------|
| 鑄鉄管       | 4,425t |
| ビニルパイプ    | 350t   |
| プラスチックシート | 71.3t  |
| クローラ      | 250t   |

### 化学物質

取扱量 11,462 t



を支え続ける

確保  
な水の確保  
境保全

循環

環境汚染防止

再資源化

汚染防止(大気・水・土壌)

衛生的な水の供給

長期安定的な水の供給

多地域への水供給

## Water (水)



鉄管



ポンプ



バルブ



耐震貯水槽

下水の処理・浄化

水の再生利用

廃棄物の処理・減容化

## Environment (環境)



液中膜ユニット



浄化槽



排煙脱硫・排煙脱硝装置



破碎設備



水リサイクル量 80.4千m<sup>3</sup>  
社内再資源化量 26.3千t

物流

施工

使用

廃棄

製品の提供

・水使用量削減

・VOC削減

・生物多様性の保全

### OUTPUT

#### 大気放出

CO<sub>2</sub> 66.3 万t-CO<sub>2</sub>  
物流CO<sub>2</sub>\*\* 4.8 万t-CO<sub>2</sub>  
SOx 17.6 t  
NOx 79.6 t  
ばいじん 9.2 t

#### 水系排出

公共用水域  
排水量 382 万m<sup>3</sup>  
COD\*\* 10.9 t  
窒素\*\* 9.1 t  
りん\*\* 0.3 t

下水道  
排水量 123 万m<sup>3</sup>



#### 廃棄物

廃棄物排出量 98.2 千t  
うち社外再資源化量 75.9 千t  
埋立量 13.1 千t  
建設廃棄物等排出量\* 23.8 千t

#### 化学物質

大気排出  
PRTR法対象物質\*\* 462 t  
化学物質(海外拠点) 230 t

## 会社概要

(2014年3月31日現在)

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 社名      | 株式会社クボタ           |
| 本社      | 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号 |
| 創業      | 1890年             |
| 資本金     | 840億円             |
| 発行済株式総数 | 1,250,219,180株    |
| 株主数     | 39,117名           |
| 連結売上高   | 15,086億円          |
| 連結従業員数  | 33,845名           |



創業者:久保田 権四郎 (1870~1959)

## 役員

(2014年7月8日現在)

### 取締役



社外取締役

布野 幸利\*

取締役  
専務執行役員

小川 謙四郎

代表取締役  
副社長執行役員

久保 俊裕

代表取締役社長

木股 昌俊

取締役  
専務執行役員

木村 茂

取締役  
常務執行役員

北尾 裕一

社外取締役

松田 譲\*

### 執行役員

常務執行役員

飯田 聡

木村 雄二郎

佐々木 真治

松木 弘志

諏訪 国雄

黒澤 利彦

川上 寛

執行役員

伊藤 太一

藤田 義之

濱田 薫

窪田 博信

小川 純司

中田 裕雄

吉川 正人

木村 一尋

渡辺 大

吉田 晴行

庄村 孝夫

富山 裕二

下川 和成

内田 睦雄

石井 信之

### 監査役

監査役

坂本 悟

福山 敏和

社外監査役

河内 政治\*

根岸 哲\*

佐藤 良二\*

\*東京証券取引所の上場規則に基づく独立役員です。



# 今日もどこかで。人々の暮らしのすぐそばに。

クボタの総合力を結集し、食料・水・環境分野の課題解決に貢献します。





# 機械



**1 トラクタ**  
主に耕うん・整地・運搬などの農作業を行います。



**2 田植機**  
稲の苗を水田に移植します。省人・軽労化に大きく貢献します。



**3 コンバイン**  
コメや麦、豆類などを刈り取ると同時に脱穀します。



**4 ミニ耕うん機**  
小規模な農地で耕うんなどの農作業を行います。



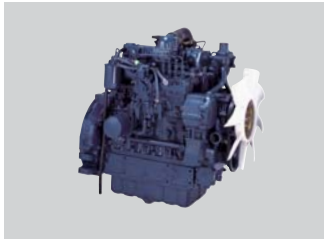
**5 乗用芝刈機**  
一般家庭の庭、オフィスまわり、公園等の芝刈を行います。



**6 ユーティリティビークル**  
農作業、土木作業、レジャーなど多目的に活躍します。



**7 建設機械(ミニバックホー)**  
土木作業などを行います。市街地など狭い現場を得意とします。



**8 エンジン** (①~⑦などに搭載)  
農業機械、建設機械など産業機械の動力源として使用されます。

# 水・環境



**9 鉄管**  
水道・下水道・ガス管などのインフラとして使用されます。



**10 耐震貯水槽**  
地震などの災害による断水に備えて飲料水を確保します。



**11 バルブ**  
流体・気体を制御し、水道・下水道などに使用されます。



**12 ポンプ**  
水を圧送し、水道・下水道、雨水排水などに使用されます。



**13 合成管**  
水道・下水道・ガス管などのインフラとして使用されます。



**14 セラミック膜**  
河川や水源地の水を高度浄化処理し、飲料水をつくります。



**15 液中膜ユニット**  
生活排水や産業排水など下水を浄化します。



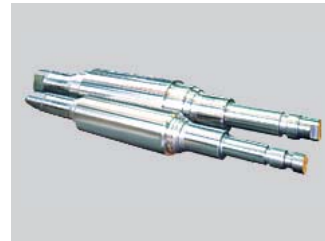
**16 浄化槽**  
下水道が整備されていない地域の排水処理を行います。



**17 下水汚泥焼却炉**  
下水処理の際に発生する汚泥を焼却・溶融するプラントです。



**18 鋼管**  
橋梁、港湾、河川、建築物などの基礎工事に使用されます。



**19 ロール**  
おもに製鉄所などの圧延工程に使用されます。



**20 鋳鋼**  
エチレン精製など石油化学プラントで使用されます。



**21 トラックスケール**  
トラックなどの積載量計測を行います。



**22 空調**  
主にビルや工場の集中管理型空調に使用されます。



**23 自動販売機**  
飲料やタバコなどを自動で販売します。



**24 ティーザクス**  
主にプレーキパッドなどの摩擦材の素材に使用されます。

# グローバルネットワーク (2014年7月1日現在)

クボタグループは世界標準の高品質を強みに、生産・販売・調達拠点の拡大をはじめ、海外の事業展開を加速しています。今後もグローバルマネジメントをさらに充実させ、世界の人々に必要とされる企業グループとして成長を続けていきます。



## 国内事業所・国内の主なグループ会社

### ■ 本社

本社 (大阪市)  
 本社阪神事務所 (兵庫県尼崎市)  
 東京本社 (東京都)

### ■ 支社・支店

北海道支社 (札幌市)  
 東北支社 (仙台市)  
 中部支社 (名古屋)  
 中国支社 (広島市)  
 四国支社 (高松市)  
 九州支社 (福岡市)  
 横浜支店 (横浜市)

### ■ 営業所

和歌山営業所 (和歌山市)  
 熊本営業所 (熊本市)  
 沖縄営業所 (那覇市)

### ■ 製造所・工場・事業センター

堺製造所 (大阪府堺市)  
 農業機械、エンジン  
 枚方製造所 (大阪府枚方市)  
 建設機械、バルブ・ポンプ、鋳鋼品  
 筑波工場 (茨城県つくばみらい市)  
 農業機械、エンジン  
 電ヶ崎工場 (茨城県龍ヶ崎市)  
 自動販売機

宇都宮工場 (栃木県宇都宮市)

農業機械  
 京葉工場 (千葉県船橋市、市川市)  
 ダクタイル鉄管、スパイラル銅管  
 滋賀工場 (滋賀県湖南市)  
 浄化槽  
 阪神工場 (兵庫県尼崎市)  
 ダクタイル鉄管、圧延用ロール  
 久宝寺事業センター (大阪府八尾市)  
 電装機器  
 恩加島事業センター (大阪市)  
 エンジン鋳物、鋳鉄鋳物

### ■ 主なグループ会社

株式会社北海道クボタ  
 ほか国内農機販社 15社  
 農業機械の販売  
 クボタ機械サービス株式会社 (大阪府堺市)  
 農業機械の総合サービス  
 クボタアグリサービス株式会社 (大阪市)  
 農業機械に関する技術指導・販売指導  
 株式会社クボタクレジット (大阪市)  
 販売商品の小売金融  
 クボタ精機株式会社 (大阪府堺市)  
 油圧機器、その他精密機械部品の製造・販売

株式会社クボタ建機ジャパン (兵庫県尼崎市)  
 建設機械の販売  
 クボタシーアイ株式会社 (大阪市)  
 塩化ビニルなどの合成樹脂管および  
 継手の製造・販売  
 日本プラスチック工業株式会社 (愛知県小牧市)  
 ビニルパイプおよび各種シートの製造・販売  
 クボタ環境サービス株式会社 (東京都)  
 水および廃棄物処理施設の維持管理、設計施工、  
 補修改造工事並びに薬剤などの販売、  
 水質・大気・廃棄物等の分析

クボタ水処理株式会社 (東京都)  
 産業向け用排水処理・排ガス処理に関する  
 環境エンジニアリング、補修改造工事、維持管理、  
 薬剤等の販売  
 クボタ空調株式会社 (東京都)  
 各種空調機の製造・販売  
 株式会社クボタ工建 (大阪市)  
 上下水道・土木・建設工事請負  
 ケイミュ株式会社 (大阪市)  
 屋根材および外壁材の製造・販売

## Europe

- ① Kubota Europe S.A.S.  
Argenteuil, FRANCE  
トラクタ・建設機械・エンジン・  
汎用機械の販売
- ② Kubota (Deutschland) GmbH  
Rodgau/Nieder-Roden, GERMANY  
トラクタ・エンジン・  
汎用機械の販売
- ③ Kubota Baumaschinen GmbH  
Zweibrücken Rheinland-Pfalz,  
GERMANY  
建設機械の製造・販売
- ④ Kubota (U.K.) Ltd.  
Oxfordshire, U.K.  
トラクタ・建設機械・エンジン・  
汎用機械の販売
- ⑤ Kubota Membrane Europe  
Ltd.  
London, U.K.  
液中膜の販売
- ⑥ Kubota España S.A.  
Madrid, SPAIN  
トラクタ・汎用機械の販売
- ⑦ Kverneland AS  
Kverneland, NORWAY  
トラクタ用作業機器の製造・販売

## Asia &amp; Oceania

- ⑧ 韓国クボタ株式会社  
Kubota Korea Co., Ltd.  
Seoul, KOREA  
トラクタ・コンバイン・田植機・建設機械の販売
- ⑨ 久保田(中国)投資有限公司  
Kubota China Holdings Co., Ltd.  
Shanghai, CHINA  
中国の地域統括会社
- ⑩ 久保田農業機械(蘇州)有限公司  
Kubota Agricultural Machinery (SUZHOU)  
Co., Ltd.  
Jiangsu, CHINA  
トラクタ・作業機の製造・販売
- ⑪ 久保田建機(無錫)有限公司  
Kubota Construction Machinery (WUXI) Co., Ltd.  
Jiangsu, CHINA  
建設機械の製造
- ⑫ 久保田発動機(上海)有限公司  
Kubota Engine (SHANGHAI) Co., Ltd.  
Shanghai, CHINA  
エンジンの販売
- ⑬ 久保田発動機(無錫)有限公司  
Kubota Engine (WUXI) Co., Ltd.  
Jiangsu, CHINA  
立形ディーゼルエンジンの製造
- ⑭ 久保田建機(上海)有限公司  
Kubota Construction Machinery (SHANGHAI)  
Co., Ltd.  
Shanghai, CHINA  
建設機械の販売
- ⑮ 久保田国禎環保工程科技(安徽)有限公司  
Kubota Guozhen Environmental  
Engineering (ANHUI) Co., Ltd.  
Anhui, CHINA  
水処理市場向けMBRのプラントエンジニアリング  
および膜装置の製造・販売
- ⑯ 久保田三聯ポンプ(安徽)有限公司  
KUBOTA SANLIAN PUMP (ANHUI) Co., Ltd.  
Anhui, CHINA  
ポンプの製造・販売
- ⑰ 久保田環保科技(上海)有限公司  
Kubota Environmental  
Engineering (SHANGHAI) Co., Ltd.  
Shanghai, CHINA  
水処理市場向けプラントエンジニアリング  
および機器の販売
- ⑱ 江蘇標新久保田工業有限公司  
Jiangsu Biaoxin Kubota Industrial Co., Ltd.  
Jiangsu, CHINA  
鋳鋼製品の製造・販売
- ⑲ 久保田米業(香港)有限公司  
Kubota Rice Industry (H.K.) Co., Ltd.  
Hong Kong, CHINA  
日本産米の輸入・精米・販売
- ⑳ 新台湾農業機械股份有限公司  
Shin Taiwan Agricultural Machinery Co., Ltd.  
Kaohsiung City, TAIWAN  
トラクタ・作業機・建設機械・農業関連商品の販売
- ㉑ Kubota Philippines, Inc.  
Quezon City, PHILIPPINES  
トラクタ・作業機・エンジンの販売
- ㉒ SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.  
Pathumthani, THAILAND  
トラクタ、コンバイン、横形ディーゼルエンジン、  
耕うん機の製造・販売および建設機械の販売
- ㉓ SIAM KUBOTA Metal Technology Co., Ltd  
Chachoengsao, THAILAND  
エンジン・トラクタ用鋳物の製造
- ㉔ KUBOTA Engine (Thailand) Co., Ltd.  
Chachoengsao, THAILAND  
立形ディーゼルエンジンの製造
- ㉕ Siam Kubota Leasing Co., Ltd.  
Pathumthani, THAILAND  
トラクタおよびコンバインなどの小売金融業
- ㉖ Kubota Procurement & Trading (Thailand)  
Co., Ltd.  
Chanthaburi, THAILAND  
クボタグループの生産拠点向け部品の調達・供給
- ㉗ Kubota Vietnam Co., Ltd.  
Binh Duong Province, VIETNAM  
トラクタ・作業機の製造・販売
- ㉘ Sime Kubota Sdn. Bhd.  
Selangor Darul Ehsan, MALAYSIA  
トラクタ・エンジンの販売
- ㉙ Kubota Rice Industry(Singapore)PTE.Ltd.  
Singapore, SINGAPORE  
日本産米の輸入・精米・販売
- ㉚ P. T. Kubota Indonesia  
Semarang, INDONESIA  
小型ディーゼルエンジンの製造・販売

- ㉛ P. T. Kubota Machinery Indonesia  
Jakarta, INDONESIA  
トラクタ・コンバイン・田植機の販売
- ㉜ P. T. Metec Semarang  
Jawa Tengah, INDONESIA  
自動販売機および同部品の委託製造
- ㉝ Kubota Agricultural Machinery  
India Pvt., Ltd.  
Chennai, INDIA  
トラクタ・作業機の販売
- ㉞ Kubota Saudi Arabia Company, LLC  
Dammam, SAUDI ARABIA  
鋳鋼製品の製造・販売
- ㉟ Kubota Tractor Australia Pty. Ltd.  
Victoria, AUSTRALIA  
トラクタ・建設機械・エンジン・汎用機械の販売
- A 北京オフィス  
Beijing, CHINA
- B ハノイオフィス  
Hanoi, VIETNAM
- C ミャンマーオフィス  
Yangon, MYANMAR
- D ジャカルタオフィス  
Jakarta, INDONESIA
- E マレーシア営業所  
Jaya, Selangor, MALAYSIA
- F シンガポール営業所  
Singapore, SINGAPORE
- G ドバイ営業所  
Dubai, UNITED ARAB EMIRATES

## North America

- ㉞ Kubota Tractor Corporation  
California, U.S.A.  
トラクタ・建設機械・汎用機械の販売
- ㉟ Kubota Credit Corporation  
U.S.A.  
California, U.S.A.  
販売商品の小売金融
- ㊱ Kubota Manufacturing of  
America Corporation  
Georgia, U.S.A.  
汎用・小型トラクタおよびインプレメントの  
開発・製造
- ㊲ Kubota Industrial Equipment  
Corporation  
Georgia, U.S.A.  
トラクタおよびインプレメントの開発・製造
- ㊳ Kubota Engine America  
Corporation  
Illinois, U.S.A.  
エンジン・発電機の販売
- ㊴ Kubota Insurance Corporation  
California, U.S.A.  
損害保険の引受
- ㊵ Kubota Tractor Acceptance  
Corporation  
California, U.S.A.  
保険代理店業務
- ㊶ Kubota Membrane U.S.A.  
Corporation  
Washington, U.S.A.  
液中膜の販売
- ㊷ Kubota Canada Ltd.  
Ontario, CANADA  
トラクタ・建設機械・エンジン・汎用機械の  
販売
- ㊸ Kubota Materials Canada  
Corporation  
Ontario, CANADA  
鋳鋼製品・ティーザクスの製造・販売

# Kubota

## 株式会社クボタ

〒556-8601  
大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

お問い合わせ先  
コーポレート・コミュニケーション部  
Tel : 06 (6648) 2937  
Fax : 06 (6648) 2398



グリーン購入に取り組んでいます。



「食料・水・環境」分野の  
課題解決で、低炭素社会へ。  
気候変動キャンペーン「Fun to Share」に  
賛同しています。



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採  
用しています。



適切に管理された森林で生産され  
た木材を使った環境配慮型のFSC®  
認証紙を使用しています。



この印刷物は植物油インキ  
を使用しています。



有害な廃液が出ない  
水なし印刷方式で印刷  
しています。